

特別企画

都内の建設工事を  
24時間体制でサポートする  
アクティオ東京DLセンター





24

30

100

## 製品のデリバリーと 研究開発を担う レンサルティング®の 最新拠点、誕生。

5月26日(木)、東京都江東区新砂にアクティオ東京DLセンターが完成しました。

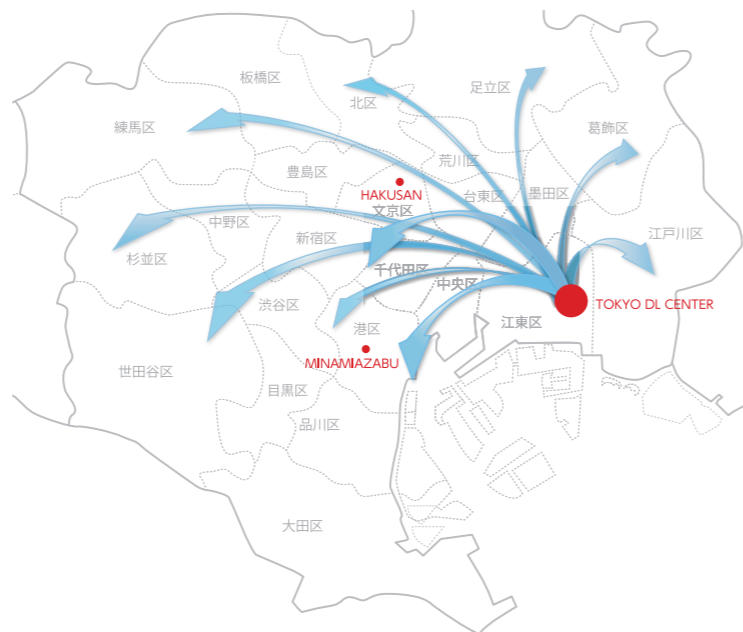
本センターは、アクティオが扱う建設機器等をいち早くお客様のもとに届けるための新拠点として計画されたもので、24時間体制で対応、都内(23区内)なら30分以内に配送が可能。また新たなニーズにお応えするための研究開発を進めるラボとしても機能します。

建物北側のセンター棟は、小型建設機器等を約1,000台格納できる自動ラック装置を設け、集中制御で6つのプラットフォームから効率よく運び出すシステムを構築。高水準のディストリビューションを実現します。

南側の事務所棟には膨大な配送量を管理するコントロールセンターと各専門分野の機能を集約。さらにラボセンターを設置し、レンサルティング®を重視した人材育成と、お客様の要望に応じて新たな機器の製作を行う研究開発を担います。

24時間体制でオーダーに対応。  
「今」必要な機器を、確実にお届けします。

工事現場での不測の事態や有事災害時など、緊急事態は夜間や休日を問わず発生します。そのため当センターは何より24時間365日稼働を大前提に計画。スタッフの対応体制はもちろん製品の数や種類、在庫量にも万全を期し、高水準のサービスをリアルタイムに提供します。



\*東京DLセンターの「D」には「Delivery(配達)」、「L」には「Laboratory(研究所)」の意味を込めています。  
\*レンサルティング®ー レンタルとコンサルティングを融合した提案のあるレンタル。

都内(23区内)および近郊の工事現場に、  
30分でお届けします。

江東区新砂という立地と、業界最高の入出庫能力を誇る自動ラックをはじめ徹底してスピードアップを図った最新の設備類、グループの運送業務を担うアクティオトランスポートの高いパフォーマンスで、オーダーを受けてから約30分以内\*のデリバリーを実現。南麻布、白山の拠点とも連携し、「今」のニーズに、「今」応えます。

\*東京23区が対象。デリバリー対象製品は小型機器に限ります。



100名のエンジニア・研究者が4つのラボで  
研究・開発・実証に取り組んでいます。

3次元CAD/3Dプリンターによる商品企画や試作品製作を行う「3次元設計室」、お客様の要望による分析評価や不具合の原因調査などを行う「分析検査室」、機械設備のスペシャリストを育成し自社・お客様からの依頼に応じた開発・試作・加工を行う「メカトロ開発室」、「試作実習室」の4つのラボを設置。研究開発の拠点として次世代を目指します。



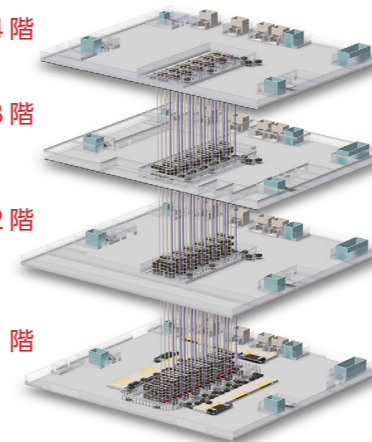
### 東京 DL センター概要

- 施設名称/アクティオ東京 DL センター
- 所在地/東京都江東区新砂 3-6-41
- TEL.03-6666-2041 / FAX.03-6666-0392
- 敷地面積/ 14,761.38㎡
- 延床面積/ 17,381.34㎡ (センター棟: 地上 4 階 14,722.7㎡ 事務所棟: 地上 5 階 2,599㎡)
- 構造・規模/S造 4階建て(整備棟)およびS造 5階建て(事務所)
- 用途/工場、事務所
- 工期/ 2015年2月25日~ 2016年5月31日

### 東京 DLセンター レイアウト

- 道路機械事業部 保安点検エリア / 4階
- エンジニアリング事業部  
機械点検エリア
- 通信機器及び建材点検エリア / 3階
- エンジニアリング事業部  
コントロールセンター
- 小物機械洗浄・点検エリア 2階
- 入出庫物流エリア 1階

### センター棟

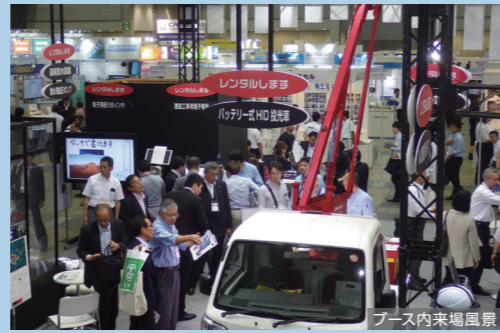


### 事務所棟

- 5階 会議室/ラボセンター  
(3次元設計室/分析検査室/  
メカトロ開発室)
- 4階 エンジニアリング事業部/  
ラボセンター (試作実習室)
- 3階 道路機械事業部/  
鉄道事業部/パワーシステム事業部
- 2階 (株)アクティオトランスポート 本社  
東京営業所
- 1階 東京 DL センター  
コントロールセンター

屋外ヤード 道路、鉄道、小型重機・高所・レンタカーヤード(1,722㎡)/門型クレーンヤード(924㎡)/軌陸車トレーニングフィールド(422㎡)

# 2016NEW 環境展に 出展しました



ブース内来場風景



ブース全体風景



商品紹介の様子



電動遠隔解体ロボット説明風景



スタッフ集合写真

5月24日(火)～27日(金)、東京都江東区の東京ビッグサイトに開催された「2016NEW 環境展」に出展しました。

アクティオ環境対応製品の認知度・理解度向上とアクティオブランドの確立、新商品の発表等を目的に掲げ、出展に臨みました。ブースでは、無線で遠隔操作するロボットによって重機を運転手に代わり操縦させる建機用無線操縦ロボや、解体現場等で使用される“遠隔散水装置”を実演。さらに、重量物を持った際に腰部にかかる負荷を軽減することができる”HAL作業支援用ロボットスーツ(腰タイプ)”の実装や、i-Constructionに対応し建設現場のICT化を支援するためのドローンによる3次元測量の実機と説明パネルの展示、新商品の”水温制御ユニット”や”超高速凝集沈殿装置 AKTi SYSTEM”の内部見学など、様々な商品を取り揃え、各専門部署の担当が豊富な商品ラインナップや対応力をアピールしました。ブースへの来場者数も昨年を上回り、大盛況の内に幕を閉じることができました。今後も環境に配慮した商品をお客様へ提供していきます。

## 2016NEW 環境展 アクティオ出展概要

- 会場：東京ビッグサイト  
会期：2016年5月24日～27日  
全体の来場者：延べ157,958人  
出展商品：
- ・超高速凝集沈殿装置 AKTi SYSTEM・遠隔散水装置
  - ・水温制御ユニット・散水用加圧ポンプ
  - ・電動遠隔解体ロボット・搭乗式床材剥がし機(バッテリー式)
  - ・床材研磨機(研た)・超ミニ用大割り機
  - ・HAL作業支援用ロボットスーツ(腰タイプ)
  - ・バッテリー式HID投光車
  - ・i-Construction(ドローンによる3次元測量)・デジタル文字シート
  - ・ストレッチャー式バッテリー室内系高所作業車 NUX06C
  - ・建機用無線操縦ロボ・建設工事用電子看板
  - ・電子黒板(55インチ)

## アクティオ担当者より 技術部 企画計画課 菅原 伸生



環境展には今回5回目の出展となり、今年は16商品を展示しました。今回は超高速凝集沈殿装置や作業支援用ロボット、ドローンを使った3次元測量とそのデータを用いて進捗管理等を可能にするi-Constructionを展示することで、アクティオが新しい技術にも積極的に取り組んでいることを広くPRできたと思います。またアクティオブースへの来場者は過去最多となりました。開催中は、多種多様な機械を展示するアクティオブースを目的に来場したというお客様や、昨年展示していた機械をもう一度見たかったというお客様の声も頂きました。このような機会を通しアクティオに興味を持って頂き、困った時には「アクティオなら何か持っているかもしれない」と相談して頂けるようになれば幸いです。

## 第26回西日本食品産業創造展'16に出展

5月18日(水)～20日(金)、マリンメッセ福岡(福岡県福岡市博多区)にて開催された「第26回西日本食品産業創造展'16」に出展しました。食の安心・安全に関連した新コーナー「フードディフェンス」にて、ダンボールなどの包材に代わる安全な容器と注目を集めているロジコンや、食品の鮮度維持を図り製品の品質管理に貢献するD-BOXなどを展示。初めての出展でしたが、多くのお客様にご来訪いただきました。この経験を今後の営業活動に生かしていきたいと思っております。(産業設備部 物流システム課 古謝 秀樹・辻尾 晃一)



## EE東北'16(ENGINEERING EXHIBITION TOHOKU'16)に出展

6月1日(水)～2日(木)、夢メッセみやぎ(宮城県仙台市宮城野区)にて開催された「EE東北'16」に出展しました。“広げよう新技術 つなげよう未来へ”をテーマに建設事業の新材料、新工法、その他時代のニーズに対応して開発された新技術を公開する展示会で、アクティオでは、クレーン切替装置付油圧ショベルや根こそぎ切るソー、電動遠隔解体ロボット、マグマジェットなど多種多様な機械を展示。アクティオの総力をアピールしました。



## アクティオグループ会社紹介

# 株式会社イブキ産業

## 東日本大震災の復興 事業の最前線で戦っ ている会社です

株式会社イブキ産業は1975年10月、土木資材及び建設機械の販売を主業務に、岩手県宮古市で創業しました。その後小型機械やミニバックホー、発電機のレンタルをスタートし、「地元の発展をめざす」をスローガンに営業展開を重ね、41年目を数えます。

2007年2月にアクティオグループの一員となり、アクティオを中心としたグループ各社の協力の下、営業エリアの拡大を推し進め、現在は岩手県沿岸地域、県北・久慈市から県南・陸前高田市まで、

7営業所、機材センター1店舗(業務・輸送・ストックヤード)がございます。それに加え、東日本大震災後の需要に対応するためアクティオとのJVで大槌ヤード、川井ヤード、宮古北ヤードを展開しております。企業理念は「みんなのために」。今期の経営方針は「総力を結集しよう」、行動指針を「創業の精神で未来への第一歩と

しよう」とし、震災後の復旧事業から復興事業を中心とした地域のニーズに応えるべく、日々邁進しております。今後も、アクティオグループの一員としての誇りと責任を胸に刻み、全社一丸となって事業推進の良きパートナーとしての役割を果たし、さらなる地域発展に貢献してまいります。



[ 会社概要 ]

会社名：株式会社イブキ産業  
 本社所在地：岩手県宮古市板屋一丁目2番7号  
 設立：1975年10月(昭和50年10月)  
 TEL：0193-63-4411  
 FAX：0193-64-4656  
 従業員数：64名  
 事業拠点数：営業所：7店舗 / 機材センター：1店舗



レンタル 熱中対策商品

# 熱中対策商品キャンペーン 2016のご紹介

アクティオでは、熱中対策商品カタログ2016を制作しております。  
熱中症対策として塩あめやスポーツドリンク、経口補水液、応急キット、レンタル商品に掲載しておりますので、ぜひご利用ください。



熱中症対策レンタル商品

<p>● <b>クールミスト</b></p> <p>商品コード <b>NLL 17000</b></p> 	<p>● <b>スポットエアコン</b></p> <p>商品コード <b>NL5</b></p> 	<p>● <b>スタンドファン</b></p> <p>商品コード <b>BD7 10000</b></p> 
<p>● <b>ミストファン&amp;マルチポンプ</b></p> <p>商品コード <b>NLX / NLW</b></p> 	<p>● <b>製氷器</b></p> <p>商品コード <b>NR1</b></p> 	<p>● <b>ウォータークーラー</b></p> <p>商品コード <b>NDE</b></p> 
<p>WBGT®測定関連商品</p> <p>● <b>熱中症指標計</b></p> <p>商品コード <b>R3P 10000</b></p> 	<p>● <b>熱中症予防表示パネル</b></p> <p>商品コード <b>RN3 00500</b></p> 	<p>● <b>熱中症予防表示器</b></p> <p>商品コード <b>RN4 00500</b></p> 

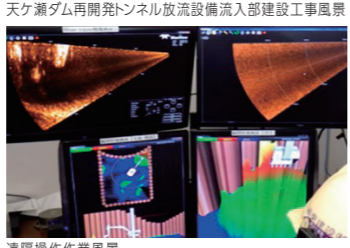
※湿球黒球温度のこと。温度・湿度・熱の輻射を含んだトータルな指標で、暑さがカラダに及ぼす負担を評価するための規格です。機械に関する詳細につきましては、最寄の営業所までご確認ください。

## 報告 「T-iROBO UW シャフト式水中作業機」が、4社団法人より表彰されました

京都府宇治市の天ヶ瀬ダム再開発トンネル放流設備流入部建設工事にて活躍した「T-iROBO UW シャフト式水中作業機」が、4社団法人より表彰されました。

- 土木学会技術開発賞
- 日本建設機械施工大賞
- ダム工学会技術開発賞
- エンジニアリング協会奨励特別賞

「T-iROBO UW シャフト式水中作業機」は、大成建設株式会社を筆頭に、作業機本体を極東建設株式会社、シャフト固定装置及びシャフトを吉永機械株式会社、先端オーガーを三和機材株式会社と、各メーカーのノウハウを集約させ、その上でアクティオが培ってきたマシンガイダンス・機械制御の技術を組み合わせることで、1つの作業装置として完成。2010年の開発スタートから約5年を経て、現場に導入し、大きなトラブルもなく施工を終えることができました。今後は、この機械の強みを生かし、あらゆる水中施工への適用・チャレンジを進めていきます。



※「T-iROBO UW シャフト式水中作業機」については、「AKTIO」No.2、No.6でも特集しております。ぜひご覧ください。

## 報告 熊本地震の見舞金として、6市町村に総額1,500万円を寄付

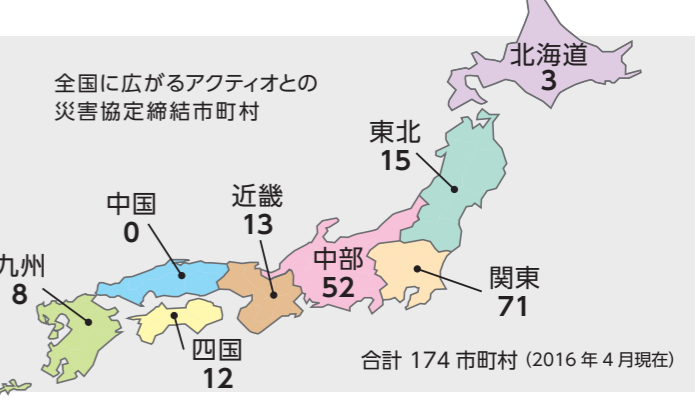
5月18日(水)、19日(木)、弊社代表取締役副社長 小沼 直人が熊本地震の被災地を訪問しました。災害を乗り越えて1日も早い復興を祈るとともに、応援の気持ちで、被害の大きかった益城町、西原村、嘉島町、南阿蘇村、阿蘇市、熊本市の6市町村を訪問し、見舞金を寄付しました。  
各自治体の首長は、被災前の状態に戻すことにとどまらず、より望ましい復興のかたちを模索しています。そのお力添えができるよう、アクティオも今以上にレンタルを通じて被災地の復興に尽力します。



左:小沼副社長 右:阿蘇市長 佐藤義興様(災害協定締結)

## 自治体との災害協定締結の推進

アクティオでは、各地の地方自治体と直接災害協定を締結し、災害時に迅速かつ安定的な機材の供給ができるよう、その関係づくりを推進しています。



## CSR アクティオグループで、ビーチクリーン活動を実施しました

7月3日(日)、千葉県木更津市の金田見立海岸にて、ビーチクリーン活動を行いました。アクティオグループで行うこの活動も今年で9回目となりますが、今回は、金田見立海岸付近の現場の方々にも参加して頂き、総勢600名で清掃を実施。たくさんのごみを拾い、海岸を綺麗にすることができました。



海岸清掃風景

## 「富士山に敬意を払う新幹線」

1964年の東京オリンピックによるインフラ整備で世界的にも注目されていたのが東海道新幹線。当時、200km/h以上で営業運転を行う高速鉄道は世界に例がなく、車両開発だけでなく、鉄道の敷設にも最先端の技術が投入されました。とはいうものの現在のようなシミュレーション技術はなく、そんな中で全延長515km中、275kmが切取盛土、トンネル全延長68km、高架橋全延長115kmにおよぶ大工事を5年強で完成させたのは、まさに圧巻。国の誇りをかけた当時の関係者の強い想いが伝わってきます。誇りといえば、日本が誇る富士山が美しく見える富士川橋梁。実は富士山に敬意を払い、その姿がよく見えるようにと山側の柵がありません。東海道新幹線を利用する際は、富士山を眺め、当時の関係者の「おもてなし」を感じてください。

連載コラム **歴史仕事** を作る仕事

富士山を背景に走る東海道新幹線(昭和47年)、静岡県富士市

# 今日も一日 ご安全に!

## STOP! 熱中症



**飲み物別  
水分補給  
ポイント**

**スポーツ飲料  
経口補水液**

大量に汗をかいた後は、じつは水だけでは塩分不足になり、逆に熱中症の危険度が増えてしまいます。水分も塩分も補給できるスポーツ飲料や経口補水液はおすすめのドリンクです。

**カフェイン飲料**

カフェインを多く含む飲み物には利尿作用があり、体内に必要な水分も排泄してしまうので、大量に汗をかいた後には適しません。ノンカフェイン飲料や麦茶などを摂取しましょう。

**甘いジュース  
清涼飲料水**

糖分が多量に含まれているジュースや清涼飲料水は、空腹感を感じなくなるため夏バテの原因にもなります。熱中症対策面からだけでなく、普段から飲み過ぎには注意が必要です。

**アルコール**

アルコールは体内で分解する際に水が必要となり、加えて利尿作用もあるため、脱水症状をおこしやすくなります。また摂取した翌日も普段より熱中症になりやすいため注意しましょう。

私たちアクティオも、安全には十分配慮しておりますが、皆様との意識の共有が大切です。

日頃の安全対策に役立てていただければと思います。

いよいよ夏本番。現場で作業をされる皆様には、熱中症が心配な季節です。実はその熱中症、過去5年間（平成23～27年）の業種別の死傷者数をみると、建設業が最も多く、ついで製造業。全体の約5割をこの2業種で占めています。あわせて、月別の死傷者数をみると、全体の約9割が7月および8月に発生しており、仕事でも日常生活でも特に気をつけなければならない時期と言えます。

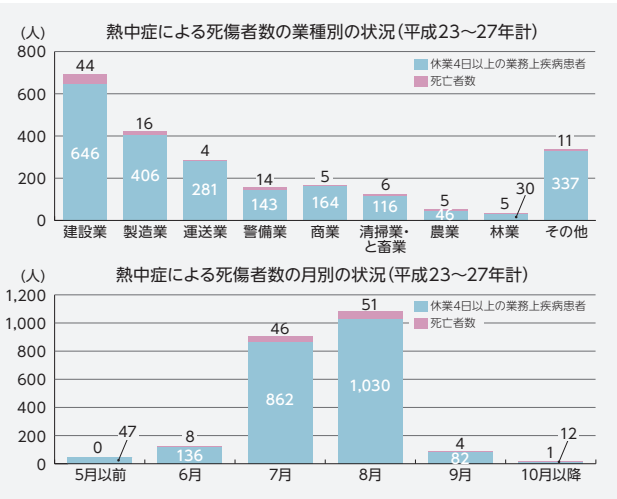
昨年の死亡事例発生状況を見ると、WBGT値（湿度、輻射熱、気温の3つを取り入れた熱中症の危険度を判断する数値）の測定を行っていなかったり、現場で熱中症に関する教育が行われていなかったり、健康診断を受診していませんでした。今年は気象庁による高温に関する異常天候早期情報が出される程猛暑が続いており、今後とも注意が必要です。飲み物をこまめにとることに

加え、塩分補給やこまめな休憩、栄養の取れた食事、十分な睡眠をとることが熱中症予防に繋がります。しっかり予防して、夏を安全・健康に乗り越えてください。ところで熱中症対策には、喉が渇く前の水分補給が大切だといいますが、どういった飲み物を飲めばいいのでしょうか？飲み物別に水分補給のポイントをイラストに纏めました。水分補給時の参考にして頂ければと思います。

**【熱中症事例】**

- 事例1** 高速道路、舗装工事中に作業者が、アスファルトの照り返しによる気温上昇により、意識を失って倒れた。
- 事例2** 化学工場の定期補修工事現場で、使用する足場の組立て作業中に作業者が熱中症に。35℃を越える真夏日が続いていたことに加え、日陰のない直射日光の強い作業場所だった。
- 事例3** レストラン改修工事において、厨房室内装工事を担当していた作業者が、折からの猛暑による室内の温度の上昇により意識を失った。

参考：厚生労働省「職場における熱中症による死傷災害の発生状況」[職場のあんぜんサイト(労働災害事例)]



**編集後記**

朝の出動前など、今日の天気予報は気になりますよね。天気予報で必ず出てくる天気図ですが、自分で書くことができることを知っていますか？NHKのラジオ第2放送で1日1回、16時～放送されている気象通報（20分間）を聴くことで天気図を書くことができるんです。実は私、高校生の頃、山岳部に所属しており気象担当でした。気象担当は、大会時にラジオを聴いて天気図を書き、その天気図から天気予測をするという役目がありました。まったく天気図を書いたことのない私は、録音したラジオを聴きながら1日5枚以上天気図を書き、部活の顧問や地学の先生に添削して貰っていたことを思い出します。大して興味の無かった気象ですが、天気図を書くことで興味が湧きました。山登りを趣味とされている方もたくさんいらっしゃると思います。山登りにとって天気はとても重要です。ご興味がありましたら1度ぜひ、天気図を書いてみてはいかがでしょうか。（営業企画室 成澤）



**表紙写真**

写真は、東京都江東区新砂に完成、竣工式が行われたアクティオ東京DLセンターの外観です。巻頭特集としてP.2-P.3の2ページでセンターの概要を紹介しています。ぜひご覧ください。